

業績ハイライト

売上高
前期比 **3,282億円
+3.9%**

国内は、慢性期市場への注力により栄養食品などの売上が伸長したほか、薬価・公定価改定の影響を受けながらもカテーテルシステムの売上が拡大しました。

海外では、円高による為替の影響を受けましたが、主に、カテーテルシステムの売上がけん引し、現地通貨ベースでは各地域で二桁の伸長となりました。

営業利益
前期比 **626億円
▲1.1%**

次期の見通し

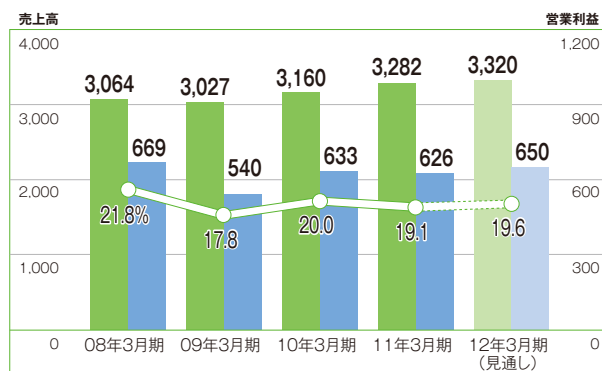
売上高 **3,320億円**
営業利益 **650億円**

東日本大震災からの早期復興を実現し、新中期経営計画の達成に向けて取り組んでまいります。

※2011年4月に買収した2社の業績予想は含めていません。

売上高、営業利益および売上高営業利益率

(億円)



■売上高 ■営業利益 ○売上高営業利益率

株式についてのご案内

事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	毎年6月に開催
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
基準日	毎年3月31日

※その他必要がある場合は、取締役会の決議により、あらかじめ公告して設定します。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先(郵便物送付・電話照会)

〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話:0120-232-711(フリーダイヤル)

単元株式数 100株

公告掲載URL <http://www.terumo.co.jp/>

やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に公告いたします。

ご注意

- (1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社など)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に口座をお持ちの株主様の各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でのお支払いいたします。

テルモ株式会社(証券コード:4543)

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷二丁目44番1号
電話 03-3374-8111(代表)
URL <http://www.terumo.co.jp/>

Ⓞ.TERUMO、テルモはテルモ(株)の登録商標です。

©テルモ株式会社 2011年6月

TERUMO
人にやさしい医療へ

TERUMO LETTER

第96期
報告書

2010年4月1日～
2011年3月31日

ごあいさつ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度の東日本大震災において、被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

当社は、2010年6月にスタートした新経営体制のもと、「10年以内に売上高1兆円を達成し、世界で存在感のある企業になる」という目標を掲げ、飛躍的な成長を目指しています。

当期は、医療の質を高めるとともに、医療経済性に貢献する商品とサービスを国内および海外で積極的に展開し、業績向上に努めてまいりました。その結果、売上高は増収を達成しましたが、当期純利益は急激な為替の変動や震災の影響などにより減益となりました。なお、当期の年間配当金は、創立90周年の記念配当として2円増配し、中間配当金16円を加えて、1株につき34円となります。

当社は経営体制の強化をはかり、グローバルな成長を目指して全社一丸となって取り組んでまいります。

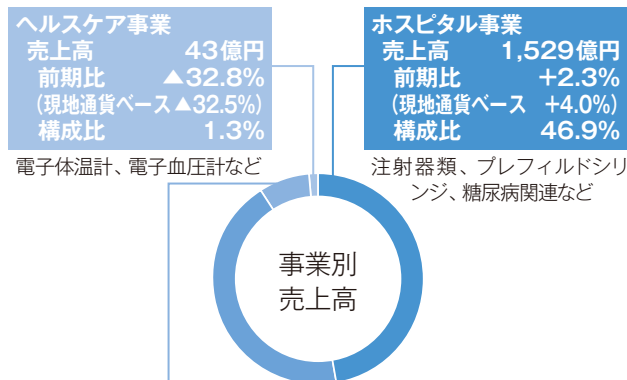
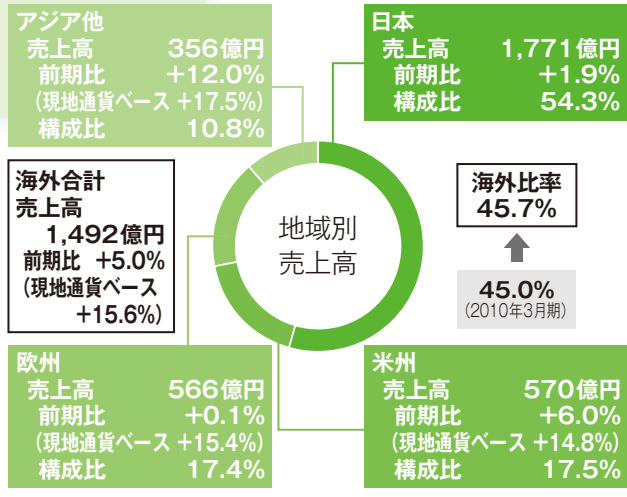
株主の皆様には、一層のご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



代表取締役 社長
新宅 祐太郎

地域別・事業別売上高※

※アジア子会社の会計期間統一による売上高影響額19億円を除く。



電子体温計、電子血圧計など

注射器類、プレフィルドシリンジ、糖尿病関連など

血液バッグ、血液自動製剤システムなど

ガイドワイヤー、PTCA用バルーンカテーテル、ニューロ、人工心臓システム、人工血管など

▶ 詳細な決算情報はIRウェブサイトへ

テルモ四季報

ウェブアンケートにもぜひご協力ください。

▶ テルモの社会環境報告についてはコチラ

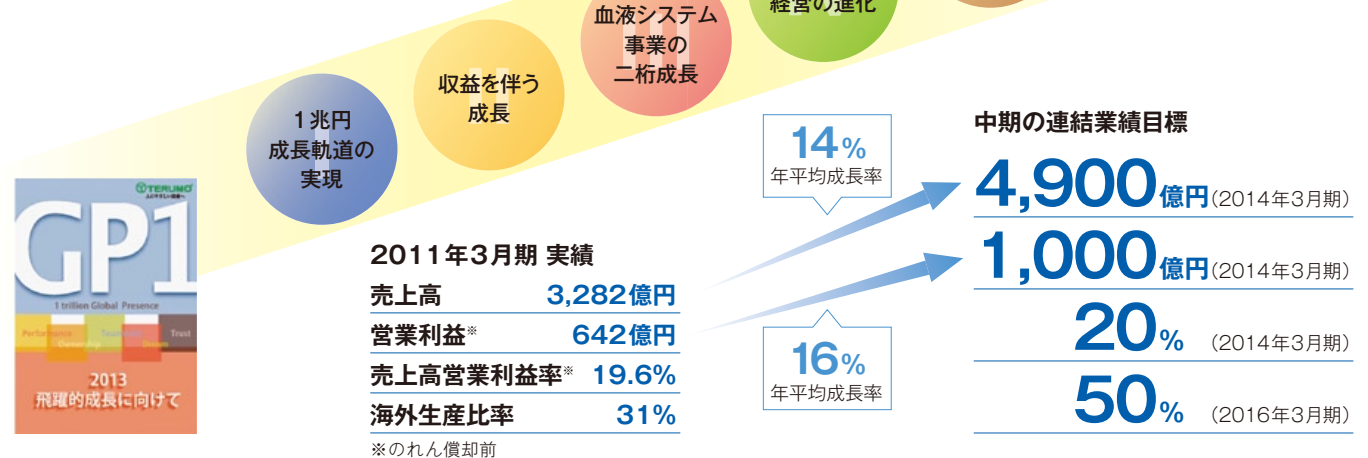
日本の医療産業をけん引する世界のリーディングカンパニーへ

GP1: 1 trillion Global Presence

GP1—2013 飛躍的成長に向けて

新経営体制のもとに打ち出した「10年以内に売上高1兆円を達成し、世界で存在感のある企業になる」という長期目標の実現を目指し、2012年3月期を初年度とする3カ年の中期経営計画をスタートいたしました。事業・生産のグローバル化を加速させるとともに、飛躍的成長に向けて、リスク対策・収益性・財務など企業体質の強化をはかってまいります。

中期経営計画の5つのポイント



トピックス①

米国企業2社を買収し、グローバルな成長を目指します

- 2011年4月、CaridianBCT社買収
 - 血液システム事業分野で世界トップに
 - グローバルに成長をけん引する新たな柱へ
- 2011年4月、Harvest Technologies社買収
 - 手術後の回復を早める治療技術の獲得
 - 患者さんの細胞を利用した再生医療への展開

買収会社との融合により、飛躍的な成長を達成することで、株主の皆様のご期待に応えてまいります。

トピックス②

被災地への支援活動

被災地での深部静脈血栓症(エコノミークラス症候群)の予防に役立つ圧迫ストッキングをはじめ、体温計、血圧計などの医療物資や義援金を届けました。

- 支援総額: 2億4,000万円相当
- 低体温計のスピード開発: 救急医療の現場からの声にいち早く応えました。



圧迫ストッキング



低体温計